

次号(6月7日発売)は合併特大号「コッポンのタブー」に挑戦する!

特別定価
3800円(税込)

「腹案に関わった総理側近をつかまえては、ローテーション案でいいんですね」「新田原と違っていいですね」と念を押していた。そこを確認したうえで、「社民党は絶対に県外移設を求める」とマスコミや国民に

防衛省でも「腹案派パージ」

「総理腹案」潰しに動いた平野官房長官(左は本誌が報じた「腹案文書」)



ところが、すでに鳩山首相と仲井真知事が会った23日には、展開は迷走し始めていた。鳩山氏は帰京する前に短時間ながら民主党沖縄県連幹部と会談した。出席者の1人が明かす。

『「辺野古付近」発言の後

パフォーマンスして、腹案で決まったときには自分の手柄にしようとした」(関係筋) というのはある。 自業自得とはいえ、福島氏は「ハシゴを外された」と思ったに違いない。

『辺野古』と報じさせたうえ、知事会見では総理に文書を持たせて、これ以外は話さないように、と縛りをかけた」(民主党幹部)

がなされた」(同省幹部) そういった旧利権派の政権ジャックにより、鳩山首相は「辺野古」と口にした。 「総理は、平野さんには一度この問題を任せている。 ないがしろにはできない」という。しかし、このままでは総理は、国益より私情を優先したことになってしま

せろ」と命じた。ああ、深刻な覚悟をしているなど感じた」(前出・民主党幹部) 小沢氏の政治手法からして、「深刻な覚悟」は大抵、自らの進退をテコにした政局打開を指す。代表辞任で総選挙に大勝した昨夏の政権交代は代表例だ。

だったので、我々も不安と怒りを抱えて会った。が、なんと総理は「私はまだ県外、国外移設を諦めていません」というのです。それなら名護市長や関係者にそう説明していいですか、と念を押しても「お約束する」という。どうもわけがわからなくなりました。 このあたりが「宇宙人」といわれる所以だ。では、知事会見での発言は何だったのか。カメラに囲まれた鳩山氏が手にしていた「文書」に秘密がある。

「あれは平野博文・官房長官ら『反・腹案派』が作ったもの。前日に岡田・ルー・ス会談の中身をリークし、わざわざ新聞やテレビに

訪ねても、彼らがいろいろと理屈をつけて会わせないことも増えている」(前出・関係筋) というから、もはやこれは、総理を「軟禁」して自在に操ろうという側用人政治と見まがう光景だ。 これに手を貸したのが、辺野古にこだわる米国防総省の「ネオコン派」と深く結びついた防衛族一派だ。 『「腹案」には、現役の防衛省局長級幹部が複数、協力してきた。彼らは自民党とネオコンの利権にのめり込んでしまった守屋武昌・元防衛事務次官(収賄罪などで有罪・上告中)と距離を置くグループだったが、5月になって省内で彼らを普

天間問題から外す体制変更 動いた山岡賢次・国対委員長を押しとどめ、「これは官邸の仕事だ。彼らにやら